

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年6月8日(2023.6.8)

【公開番号】特開2021-133092(P2021-133092A)

【公開日】令和3年9月13日(2021.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2021-043

【出願番号】特願2020-33064(P2020-33064)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月31日(2023.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特別図柄の変動表示である図柄変動を実行可能な変動実行手段と、
可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を実行可能な特定遊技実行手段と、
を備え、

前記図柄変動で前記特別図柄が特定図柄で停止表示された後に無効期間が開始され、前記無効期間の終了後に有効期間を開始するものであり、

前記特定遊技実行手段は、前記有効期間中に遊技球が開始領域を通過すると前記特定遊技を実行するものであり、

前記無効期間として、第1無効期間と第2無効期間とを設定可能であり、

30

前記第1無効期間中に第1演出を実行して、前記第2無効期間中に第2演出を実行することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

特別図柄の変動表示である図柄変動を実行可能な変動実行手段と、
可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を実行可能な特定遊技実行手段と、
を備え、

前記図柄変動で前記特別図柄が特定図柄で停止表示された後に無効期間が開始され、前記無効期間の終了後に有効期間を開始するものであり、

前記特定遊技実行手段は、前記有効期間中に遊技球が開始領域を通過すると前記特定遊技を実行するものであり、

前記無効期間として、第1無効期間と第2無効期間とを設定可能であり、

40

前記第1無効期間中に第1演出を実行して、前記第2無効期間中に第2演出を実行することを特徴とする。

50